

難波 抱節

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川600	
<p>設置位置</p>		<p>岡山歴史教育 ー111の歴史6346ー</p> <p>難波抱節</p> <p>江戸時代後期に前節の名匠と譽われていました。</p> <p>難波抱節は、寛政3年（1791）に生まれ、15歳の時に備前岡山藩家老日蓮宗の御高・種屋宗徳の養子となり、21歳から京都・羽曳山、大原で隆昌・内村、麻酔薬による手術法や鍼灸を学びました。25歳で金川に帰郷し「出羽宗徳」を開塾すると、全国から門下が集まりました。突然病の予兆に感力することになり、コレラの跡跡、社家に西野英生しましたがこれに感染、69歳で生涯を終えました。</p> <p>医師兼道徳と譽られる岡山県では、今でも旧節の「節は仁術」という教えが生き続けています。</p> <p>岡山県立 岡山県立博物館 岡山県立博物館</p>

原遺跡

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区御津宇垣1629付近	
<p>凡例 ✖ : 設置位置</p> <p>旭川 御津図書館 宇垣 70m</p> <p>PASCO iPC</p>		<p>岡山県立歴史博物館 岡山県立歴史博物館</p> <p>原遺跡</p> <p>原遺跡は、岡山県北西部御津半島にあり、その地域は、海を介する岡山と瀬戸から旭川に合流する宇垣川によって形成された、北東は中瀬半島から成り立っています。</p> <p>この地域の遺跡は、土器土器時代に多量の遺物が出土したとされており、弥生時代の前期、中期は縄文時代、後期までの長期間にわたるもので、その範囲は約4,000㎡に及び、岡山県では最も大きな遺跡であることが判明しました。</p> <p>原遺跡が築かれた高台の跡を遺跡になると、遺構・遺物が多く発見されていることから、遺跡の中心部には、約7mの高台が築造されていたと考えられます。</p> <p>岡山県立歴史博物館 岡山県立歴史博物館</p>

陣屋町 金川

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川690-1	
		

金川知行所跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川962-1	<div data-bbox="1541 379 1872 1334"> <p>金川知行所跡</p> <p>説明 知行所とは、戦国時代から江戸時代にかけて、大名の領地を管理するために設置された行政機関の一つである。岡山市北区御津金川962-1には、この知行所の跡地が残り、現在は「金川知行所跡」として整備されている。この跡地には、知行所時代の遺構や、当時の生活の様子を伝える展示が用意されている。また、この跡地には、当時の生活の様子を伝える展示が用意されている。また、この跡地には、当時の生活の様子を伝える展示が用意されている。</p> <p>説明 Site of Kanagawa Kichijō Kichijō is the term that was introduced to samurai. In the past, the land was about 1000 to the east from Kanaguchi Station. Kanaguchi and Kanaguchi were the two paths that opened to the north and the south sides. At a certain time, samurai residences were located on both sides of Kanaguchi River and Kanaguchi was a town of samurai and samurai residences. Current Kanaguchi office is at where the two paths that opened to the north and the south sides. According to the plan, Kanagawa Kichijō was a post office or a small office. In the Edo period, it became Kanaguchi Elementary School. In 1962, the current Kanaguchi office was built in commemoration of the 100th anniversary of the municipal merger of Kanaguchi. There is a small office, a school building, or an office building at a large distance in the Edo period.</p> <p>岡山市 Kanaguchi City</p> </div>

高瀬舟

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川529	
 <p>※: 設置位置</p> <p>70m</p> <p>PASCO Increment P</p>		

津山往来

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川529	
 <p style="text-align: center;">✕ : 設置位置</p>		

角藤 定憲

平面図		表示内容
住所	岡山市北区御津野々口1373付近	
地番(公図)	—(道路)	
		

坪田譲治 金川中学の思い出

平面図		表示内容
住所	岡山市北区御津金川940岡山県立岡山御津高校正門前	 <p>岡山県立金川 一とこの思い出から</p> <p>YAMADA RYUJI 平田譲治の思い出</p> <p>坪田譲治 金川中学の思い出</p> <p>日本三大児童文学者の一人で、岡山市名譽市民である坪田譲治は、明治23年（1890）3月3日、旧津島町由利（現岡山市北区島田本町）で生まれました。石井小学校を卒業後、養正学校（現岡山県立御津南）に入学しました。</p> <p>譲治が2年生の時、養正学校が私立金川中学となり、この地に転校しました。金川中学では、いろいろな友達や知縁に恵まれて視野が広がっていった。</p> <p>『讀む本君と言う同級生がいる村がありました。前は地の子まい人でした。坂石駅の近くに、次山君と言う同級生があって、新聞がおとなしい人で、気持ちのいい人です。』（『私立金川中学校創立80周年記念誌「私原」より』）</p> <p>譲治は、金川中学を卒業後、早稲田大学に入学します。45才の時、「鬼の中の子供」で作家として認められ、以降も多くの作品を残しました。昭和57年（1982）7月7日、92歳で亡くなりました。</p> <p>—情報提供：岡山県立金川中学校 坪田君</p>
地番(公図)	—(道路)	
 <p>凡例 ✕ :設置位置</p>		